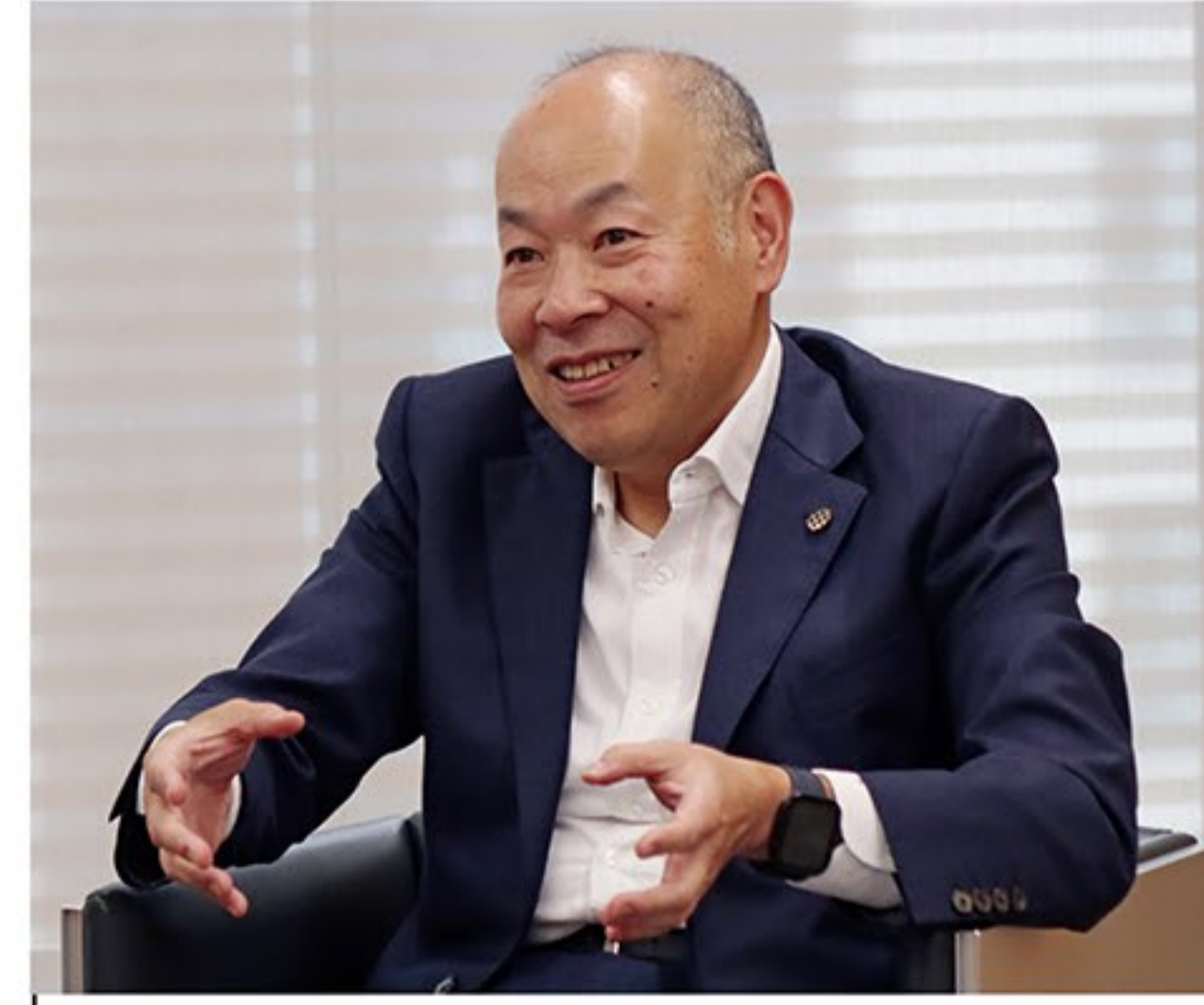


# 持続可能な社会の実現に向けて、育てたい会計リテラシー



文部科学省 初等中等教育局 主任視学官 田村 学

新潟大学教育学部卒業後、1986年より新潟県公立小学校教諭。その後、新潟県柏崎市教育委員会指導主事、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官等を務める。国学院大学人間開発学部初等教育学科教授を経て、2024年4月より現職。



日本公認会計士協会 会長 茂木 哲也

慶應義塾大学経済学部卒。1993年公認会計士登録。新日本有限責任監査法人(現EY新日本有限責任監査法人)経営専務理事(2016年~2019年)、日本公認会計士協会常務理事を経て、2022年7月より現職。

多様化、複雑化する社会の中で、子どもたちが主体的に考え、未来を切り拓いていくためには「会計リテラシー」を身に付けることが必要だ。現行の学習指導要領解説にも「会計情報の活用」が記載されているが、授業にどのように取り入れるべきか、教員からは教材や展開を知りたいという声も少なくない。日本公認会計士協会の茂木哲也会長と、文部科学省初等中等教育局主任視学官の田村学氏が、持続可能な社会の創り手、グローバル人材育成の鍵となる会計教育の必要性について語り合った。

「会計情報の活用」が取り上げられています。一方で、現場の先生方から教授方法に不安があるとの声も多く聞かれています。こうした現実と社会的な期待とのギャップをどう埋めたいか、茂木会長は、指導案・ワークシートなどからなる「授業支援パッケージ」として、公認会計士の職業規範を整備したり、公認会計士に対する専門的な研修を実施したりするなどの、その質的水準の維持・向上を担っています。

また、社会における会計リテラシーの定着は、会計の有用性に関する認識向上のため、会計教育の推進にも取り組んでいます。会計リテラシーは公認会計士などの専門家、企業で財務・経理に携わる人たちだけが必要とするものではなく、誰もが生涯わたって必要とされるものと捉えています。

「時間軸」の視点、グローバル化は違いや多様性をいかに活かすかを生み出すという、新しい視点の視点で見ることもできる。こうした現実と社会的な期待とのギャップをどう埋めたいか、茂木会長は、指導案・ワークシートなどからなる「授業支援パッケージ」として、公認会計士の職業規範を整備したり、公認会計士に対する専門的な研修を実施したりするなどの、その質的水準の維持・向上を担っています。

受け入れるかという、いわば「空間軸」の視点で見ることもできる。こうした現実と社会的な期待とのギャップをどう埋めたいか、茂木会長は、指導案・ワークシートなどからなる「授業支援パッケージ」として、公認会計士の職業規範を整備したり、公認会計士に対する専門的な研修を実施したりするなどの、その質的水準の維持・向上を担っています。

昔は学校の外に出て学ぶという、工場を見学して教科書に書かれたことを確認するなどが目的でした。今では、子どもが自分たちで積極的に地域の課題を捉えて、現状や原因を調べ、改善策を考えたり実行に移したりする。その際にいろいろな場所を訪ね、さまざまな人たちと関わりながら考えを深めていく、そうした学び方に変化しています。

茂木 社会に開かれた学び方をすすめることは、子どもたちは現実味のあることを実感できるという点で、学ぶ意味と何かが、自分たちがどう生きていこうかと考える効果ももたらすのではないのでしょうか。

田村 正解は唯一絶対のものではなく、新たな解答を更新していかなければならない。大きな変化の中で、文部科学省は、子どもたちに実際の社会で活用できる実践的・能力を育成しようと考えてきました。

田村 学習指導要領は約10年前の目録を見直しの際、社会の変化やこれからの社会のありようを見据え、子どもたちに必要とする内容を再考し、位置づけを調整しています。

田村 会計リテラシーには、社会のあらゆる場面やライフステージが必要・有用なものがあるように、学校のさまざまな教育活動に貢献していきたいと思っています。

茂木 当協会では、先ほどご紹介した教材のほかにも、実際に教材を使用した教員による授業実践発表を含む「社会科教育向けセミナー」を開催しています。

田村 会計リテラシーの可能性を考えると、提供されている教材は社会科をメインとしていますが、もっと幅広く使いたいという声も聞かれています。

茂木 かつて、子どもは自分のお金を自分で管理する責任を負う場面に出会うことが多かったですね。お金の受け渡しを見た、領収書を出した、帳簿をつけたら、お金の流れがどうなるかという意識も何となく伝わっていたように思います。

## 会計情報 を活用することの意義や重要性が分かるコンテンツを提供しています

**教材** | これを読めば「会計」の教え方がすぐにわかる! |

**「会計情報の活用」**  
教員のための  
授業実践ガイドブック

- ◆1章 会計の基礎知識と授業での取り扱い方
- ◆2章 会計を考えるきっかけとなる問い
- ◆【番外編】 歴史の視点から会計について考える

3種の教材は、次のQRコード、URLから無料でダウンロードできます  
<https://jicpa.or.jp/about/activity/basic-education/tools.html>

**「会計情報の活用」**  
授業支援パッケージ  
(中学校編・高校編)

すぐに授業で使える教材(指導案、ワークシート)もご用意しています。

中学校編 高校編

**学習動画** | 日常生活を舞台に「会計」の意義を学べる |

**「一言のシン」** 第7話まで配信中!

- 2つの想い  
経済活動における信頼とは何か
- シンの選択  
身近な日常生活における「お金の使い方」とは
- Get the chance!  
「お金で比較すること」の大切さとは
- ウマイ話に気をつけろ  
信頼できる情報か見極めるには
- 会社の成績表って?  
決算書はどのようなことに役立つのか
- 今こそ見直そう  
生活に必要なお金を把握することで見えるものとは

“第7話”が新しく8月に公開!  
夢へのマネープラン  
夢のための「お金の使い方」とは

QRコード、URLから無料でご視聴できます  
<https://jicpa.or.jp/about/activity/basic-education/shin.html>

**解説動画** | 「会計情報の活用」授業支援パッケージ(中学校編・高校編)を使用した授業実践のポイントについて

教材「『会計情報の活用』授業実践パッケージ」(中学校編・高校編)や、学習指導要領に基づく教育課程における「会計情報の活用」に関する解説などを収録しています。

次URL、QRコードから視聴申請をお願いいたします。YouTube視聴かDVD貸与のいずれかでご視聴いただけます。  
<https://forms.office.com/r/SbPq96rh1u>

**解説者**

玉川大学 教育学部 樋口 雅夫 教授  
城西国際大学 経営情報学部 阿部 信太郎 教授  
目黒区立第九中学校 藤田 琢治 主任教諭  
筑波大学附属駒場中・高等学校 山本 智也 教諭  
都立蒲田高等学校 浅川 貴広 主幹教諭  
都立文京高等学校 石川 周子 主任教諭

本教材に関するお問い合わせ先  
日本公認会計士協会 会計教育担当  
〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1 公認会計士会館  
メールアドレス: kyoiku@sec.jicpa.or.jp

信頼の力を未来へ

**jicpa**

日本公認会計士協会